

令和4年度の情報政策の主な取組について

区では、2021年11月に第2次中野区地域情報化推進計画を策定し、今後の区の情報施策の基本的な方向性を示し、中野区のDX（デジタル・トランスフォーメーション）の推進を本格的にスタートしたところである。

令和4年度予算では、新庁舎整備を契機としたDX推進による働き方改革、行政事務の効率化及びDXの推進に係る組織横断的な区民サービスの向上の取組に係る経費を盛り込み、社会の変化に対応した質の高い行政サービスを提供していく。

については、令和4年度の情報政策に係る主な取組を報告する。

1 デジタル・トランスフォーメーション（DX）について

(1) インターネットデータセンターの再構築による機能強化

職員が業務で利用するインターネットの通信速度及び利便性の向上等を図るため、東京都のシステム構築に合わせ、区とインターネット間の通信を中継するサービス（インターネットデータセンター）を再構築する。

(2) 新庁舎ネットワーク設計

新庁舎において必要なネットワーク回線の設計を行う。

(3) ユニファイド・コミュニケーションの導入

区職員の生産性の向上や業務の迅速化・適正化を図り、それにより生み出された時間をさらなる区民サービスの向上に生かすため、業務用チャット、Web会議、電話機能等を統合したシステムを導入する。令和4年度は構築用のライセンス購入を行い、システム構築を開始する。

(4) ぴったりサービス電子申請連携システムの構築

子育てや介護に関する手続及び転出・転入ワンストップサービスに係る手続について、令和5年4月までに順次マイナポータル等からオンライン申請を行うことができるよう、国と区のシステムが連携できるためのシステムを新たに構築する。

(5) 図面等電子化業務

紙図面の劣化防止、保管場所の削減などのために、図面の電子化を行い、新庁舎移転を契機としたペーパーレスの推進を図る。

(6) 新庁舎移転を契機としたペーパーレス化

内部管理システムの改修、書類の電子化など、新庁舎移転を契機としたペーパーレスの推進を図る。

(7) 新庁舎における共通発券機の一部先行導入

新庁舎で導入する全庁共通発券機について、移転後に円滑に運用できるよう、戸籍住民課及び保険医療課の窓口の一部先行導入する。

(8) A I - O C R 導入による住民税収納事務の効率化

口座振替依頼書、口座振込依頼書、特別徴収の納入済通知書の税務収納システムへの入力業務を自動化し、住民税収納事務の効率化を図る。

(9) D X 推進体制

区のD Xを推進していくため、新たにD X推進室を設置し、内部の人材育成や臨時的に専門知識を有する外部人材の確保を進めながら、I C Tを活用し、区民の利便性の向上と地域の活性化や効率的で質の高い情報基盤の整備による区政運営の推進を行う。

2 マイナンバーカード交付体制の強化について

マイナンバーカードのより一層の普及促進を図るため、夜間延長窓口実施日の増等を実施し、マイナンバーカードの交付体制を強化する。

3 教育現場におけるI C T (G I G Aスクール) について

教師がデジタル教科書を効果的に活用したオンライン学習を展開することで、児童・生徒が主体的・協働的に学習に取り組めるようになり、児童・生徒一人ひとりの「分かる」「できる」授業を実現する。またデジタル教科書を活用することで、教材準備等の時間が短縮され、教師の働き方改革にも取り組む。また区立の中学校に採点システム、小中学校に大型多機能印刷機を導入する。

4 区民に対するデジタルツールによる情報発信の普及啓発について

(1) 区ホームページのリニューアル

スマートフォン対応やトップページのデザインの見直し、検索性の向上などの課題を改善し、区民にとって必要な情報がわかりやすく、かつ、探しやすいようにするために、区ホームページをリニューアルする。また、災害などの危機情報などを迅速かつ効率的に区民へ届けるために、ホームページとSNSを連携する。さらに、デザインを統一するとともに、各課が個別に作成しているホームページを区のホームページと統合する。

(2) 統合型GISの構築

令和5年度の統合型GISの構築に向け、デジタル道路現況平面図の整備と公開するデータの電子化を進める。(統合型GISは、地図情報などの情報資産のデータ化や共有化等により、効率化を図ると同時に、地図情報については、区民や事業者が閲覧可能な状態等とすることにより、区民サービスの向上を図るもの)

5 区民のデジタルデバイドの解消について

デジタル化が急速に進んでいく中で、区民サービスを格差なく受けられる環境を構築し、区民サービスの向上、生活支援を行うために、モバイル機器の貸出しを伴う講習等を実施し、ICTを活用する層を拡大していく。

6 その他

(1) 中野区区民意識・実態調査

令和4年調査から、回答方法にオンライン回答を加える。

(2) 人財マネジメントシステムの導入

職員に関する情報(職務経験、職務意向、キャリアプラン、適性、評価、スキル、実務能力、職務意欲等)をデータベース化し、長期的・効果的な人材育成、能力開発及び適切な人事配置を行うとともに業務の効率化を図る。

(3) 商店街のキャッシュレス化

中野区商店街のキャッシュレス化導入支援として、キャッシュレス化を推進する商店街に対し、補助を行う。

- (4) ごみ分別A Iチャットボット機能の導入
ごみ分別全般に回答する「ごみ分別A Iチャットボット機能」を構築し、区のホームページからアクセスできるようにする。
- (5) 区内障害児通所支援施設におけるI C T環境整備
区立障害児通所支援施設において、新型コロナウイルス感染症拡大の状況下においても継続的な支援を行えるよう、I C Tを活用したオンラインでの療育等を行う環境を整備する。
- (6) 区立保育園におけるI C T化
区立保育園に保育業務支援システムを導入し、事務のI C T化を進め、保護者の利便性向上とともに保育士が保育業務に専念できる環境を整備し、質の高い保育サービスを提供する。